

2022年9月7日

報道関係各位

三菱マテリアル株式会社  
国立大学法人東京工業大学

### 三菱マテリアルと東京工業大学 「三菱マテリアル サステナビリティ革新協働研究拠点」を設置

三菱マテリアル株式会社（執行役社長：小野直樹、以下「三菱マテリアル」）と国立大学法人東京工業大学（学長：益一哉、以下「東京工業大学」）は、持続可能社会に貢献する革新的な材料およびプロセスに関する研究を行う「三菱マテリアル サステナビリティ革新協働研究拠点」を東京工業大学オープンイノベーション機構の支援のもと設置しました。

本協働研究拠点では、東京工業大学が保有する材料に関する幅広く高度な知見と、三菱マテリアルが蓄積している銅を中心とした非鉄金属に関する材料技術やリサイクルなどのプロセスに関するノウハウを組み合わせ、複合材料や次世代電池、CO<sub>2</sub>利活用などに関する共同研究を行います。両者の強みを発揮し、単独の研究では困難であった課題に取り組むことで、持続可能社会に貢献するグリーン・トランスフォーメーション（GX）をキーワードとする革新的な材料およびプロセスなどの創出を目指します。

両者はこれまでも様々な分野において共同研究を進めてまいりましたが、本協働研究拠点の設置に合わせて、三菱マテリアルは東京工業大学のグリーン・トランスフォーメーション・イニシアティブ（Tokyo Tech GXI）事業（※）に参画し、GX研究を加速させ、社会実装するためのさらなる連携強化を図ります。

（※）グリーン・トランスフォーメーションに向けたオープンイノベーション活動を推進する、令和4年度文部科学省教育研究組織改革分（組織整備）事業。

URL：<http://www.zc.iir.titech.ac.jp/jp/GXI/index.php>

三菱マテリアルと東京工業大学は本協働研究拠点を活用して、最先端技術を積極的に取り入れながら技術開発を推進し、豊かな社会の構築に貢献してまいります。



写真左から 三菱マテリアル 執行役常務 柴田周、東京工業大学 学長 益一哉

「三菱マテリアル サステナビリティ革新協働研究拠点」の概要

名称	三菱マテリアル サステナビリティ革新協働研究拠点
場所	東京都目黒区大岡山 2-12-1 大岡山キャンパス 大岡山北 1 号館 401 号室
設置期間	2022 年 9 月 7 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究題目	複合材料、次世代電池、CO <sub>2</sub> 利活用、再生可能エネルギー、 リサイクル/リユースなどに関する材料およびプロセス
拠点長	加藤之貴（国立大学法人東京工業大学 科学技術創成研究院 教授/ ゼロカーボンエネルギー研究所 所長）
副拠点長	磯部毅（三菱マテリアル株式会社 ものづくり・R&D 戦略部 部長）

東京工業大学協働研究拠点制度について

東京工業大学の協働研究拠点は「企業ニーズに寄り添う」ために、拠点内に「研究企画室」を設置し、現在あるテーマのみならず、新たな研究テーマの創出を図り、持続的な連携の場の実現を目指します。東京工業大学オープンイノベーション機構の詳細はウェブサイト (<https://www.oip.titech.ac.jp>) をご覧ください。

参考：文部科学省「オープンイノベーション機構の整備事業」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/openinnovation/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/openinnovation/index.htm)

以 上

<本件に関するお問い合わせ>

三菱マテリアル株式会社

戦略本社 経営戦略部 コーポレートコミュニケーション室

TEL：03-5252-5206

国立大学法人東京工業大学

総務部 広報課

TEL：03-5734-2975

MAIL：media@jim.titech.ac.jp